



# 合格体験記から学ぶ 演習システムの活用方法

TKCの4つの演習システムでは、基礎知識の確認や司法試験過去問の演習等を効果的に行うことができます。当資料では、司法試験合格体験記をもとに、合格者の活用方法をご紹介します！

## 短答対策

### 基礎力確認テスト

分野別○×（肢別）問題演習

### 短答式過去問題演習トレーニング

司法試験の短答過去問演習

## 論文対策

### 論文演習セミナー

TKCオリジナル論文問題及び  
司法試験の論文過去問題  
(選択科目を含む)

## 判例学習

### 判例学習ドリル

百選・重判に掲載された判例を  
一覧化した学習ツール

行	分野	問題数	進捗状況	正答率
1	第1章 憲法総論	140問/140問 (100.0%)	<div style="width: 100%;"><div style="width: 100%;"></div></div>	52.9%
2	1-1 憲法の概念及び立憲主義	43問/43問(100.0%)	<div style="width: 100%;"><div style="width: 100%;"></div></div>	58.1%
3	1-2 憲法の変動と保障	42問/42問(100.0%)	<div style="width: 100%;"><div style="width: 100%;"></div></div>	47.6%
4	1-2-1 憲法の変動	17問/17問(100.0%)	<div style="width: 100%;"><div style="width: 100%;"></div></div>	58.8%
5	1-2-2 憲法の保障	25問/25問(100.0%)	<div style="width: 100%;"><div style="width: 100%;"></div></div>	40.0%
6	1-3 平和主義及び国際協調主義	18問/18問(100.0%)	<div style="width: 100%;"><div style="width: 100%;"></div></div>	55.6%
7	1-4 国民主権と天皇制	37問/37問(100.0%)	<div style="width: 100%;"><div style="width: 100%;"></div></div>	51.4%
8	1-4-1 国民主権	15問/15問(100.0%)	<div style="width: 100%;"><div style="width: 100%;"></div></div>	40.0%
9	1-4-2 天皇制	19問/19問(100.0%)	<div style="width: 100%;"><div style="width: 100%;"></div></div>	63.2%



使い方を  
動画で確認

<https://bit.ly/2DhRD08>



## 「ロー・ライブラリー」(法学部生LLPデータベース) にログインしてご利用ください



ロー・ライブラリー  
law library

ユーザーID

パスワード

ログイン

ユーザーID、パスワードについて

教材ライブラリー

- 基礎力確認テスト
- 短答式過去問題演習トレーニング
- 判例学習ドリル
- 論文演習セミナー

# 短答対策 システム概要

## 基礎力確認テスト

「コア・カリキュラム」の分野別に整理・収録した「○×形式」の演習システムです。  
演習履歴機能で自身の演習実績が一目で確認でき、反復して演習することができます。

行	分野	問題数/140問	進捗状況	正答率
1	第1章 憲法総論	140問/140問 (100.0%)	<div style="width: 100%;"><div style="width: 100%;"></div></div>	52.9%
2	1-1 憲法の観念及び立憲主義	43問/43問(100.0%)	<div style="width: 100%;"><div style="width: 100%;"></div></div>	58.1%
3	1-2 憲法の変動と保障	42問/42問(100.0%)	<div style="width: 100%;"><div style="width: 100%;"></div></div>	47.6%
4	1-2-1 憲法の変動	17問/17問(100.0%)	<div style="width: 100%;"><div style="width: 100%;"></div></div>	58.8%
5	1-2-2 憲法の保障	25問/25問(100.0%)	<div style="width: 100%;"><div style="width: 100%;"></div></div>	40.0%
6	1-3 平和主義及び国際協調主義	18問/18問(100.0%)	<div style="width: 100%;"><div style="width: 100%;"></div></div>	55.6%
7	1-4 国民主権と天皇制	37問/37問(100.0%)	<div style="width: 100%;"><div style="width: 100%;"></div></div>	51.4%

科目/分野: 憲法/第1章 憲法総論 1-1 憲法の観念及び立憲主義  
問題番号: 0701011201  
問題: 憲法前文に関する以下の記述の正誤を答えなさい。  
憲法前文は、近代立憲主義の原則によりながら現代国際社会における日本の在り方を明らかにしている点で、憲法の理念・基本原則を宣言したにとどまり、法的効力をもつと解することはできない。  
解答:  正  誤 自己評価  自信なし

## 苦手分野の克服に便利！

コア・カリキュラムに基づいた分野別に演習することができるため、苦手分野の集中的な演習に効果的です。

## すきま時間を有効活用！

○×形式での出題のため、移動時間などのすきま時間に手軽に演習することができます。

## 短答式過去問題演習トレーニング

司法試験短答式試験の過去問題を収録したシステムです。  
過去問題を繰り返し演習することで本試験に不可欠なスピード・正確性・現場思考力を養うことができます。

行	実施年	問	タイトル/問題	最新	前回
1	令和4年	第1問	未成年者 未成年者に…[本文抜法]	× 2023/05/30	× 2023/05/30
2	令和4年	第2問	成年後見 成年後見に…[本文表示]	× 2023/05/30	× 2023/05/30
3	令和4年	第3問	意思表示 意思表示に…[本文抜法]	× 2023/05/30	× 2023/05/30
4	令和4年	第4問	取消し 取消しに…[本文表示]	○ 2023/05/30	× 2023/05/30
5	令和4年	第5問	時効の 時効の		
6	令和4年	第6問	不動産 不動産		
7	令和4年	第7問	物権の 物権の		

問題: 意思表示に関する次のアからエまでの各記述のうち、判例の趣旨に照らし正しいものを組み合わせたものであつたらうか。(解答欄は、【No. 1】)  
ア、 隣地者に対する意思表示は、相手方が知するまでは効力を生じない。  
イ、 未成年者Aと契約を締結したBが、Aの法定代理人Cに対してその契約を追認するかどうかを争った。この場合において、CがBの定めた期限内に確言を発しないときは、Cは、その契約を取り消すことができ、心裡留保を理由とする意思表示の無効は、過失のある善意の第三者に対抗することができない。  
エ、 錯誤による意思表示は、その錯誤が表意者の重大な過失によるものであつた場合において、相手錯誤に帰すべきときは、取り消すことができない。  
オ、 相手方に対する意思表示について第三者が強迫を行った場合には、相手方がその事実を知るとき、その意思表示は取り消すことができる。  
解答: No.1  1  2  3  4  5  
自己評価  自信なし

## 本番を想定した演習ができる！

科目ごと、年度ごとに司法試験本番と同じ形式で問題を収録しています。本番を想定した短答式演習が可能です。

## 不正解問題だけを繰り返し演習！

直近3回分の演習日と解答結果が自動記録されます。  
最新の演習結果を絞り込み表示することもできるため、効率的に反復演習が行えます。

## 便利な機能

### マイフォルダ

間違えた問題や気になる問題を登録し、いつでも繰り返し演習できます。



### 関連情報リンク

解説から参考判例等の関連情報をワンクリックで確認できます。

【文献番号】 28031248  
【文献種別】 判決/最高裁判所第一小法廷  
【裁判年月日】 平成10年 6月11日  
【事件番号】 平成9年(オ)第685号  
【事件名】 債権の行使  
【注】文献の閲覧可否は大学様毎の契約に応じて異なります

### 演習実績確認

演習実績を数値とグラフで視覚的に確認できるため、苦手分野が一目瞭然です。

行	分野	問題数/進捗状況
1	第1編 民法総論	357問/357問(100.0%)
2	序章 民法総論	357問/357問(100.0%)

# 短答対策 合格者の活用方法

## スキマ時間を有効活用！授業の予習復習に！



東京大学 LS 修了  
S.Aさん

スマートフォン一つでどこでも演習することができること、間違った問題のみを即座に選択して反復練習できることから、紙媒体の短答式試験の問題集よりずっと使い勝手がよかったです。

「基礎力確認テスト」は分野別に問題が整理されているため、法科大学院の授業の範囲を予習段階で解き、復習の際に再度解く、その上で1週間後に不正解および自信のなかった問題をもう一度解くという方法で知識を定着させました。

復習時には「短答式過去問題演習トレーニング」を活用しました。演習を通して、その範囲で実際にどのような出題がされるかを即座に確認することができるため、実践的な訓練を積むことができました。

TOP > 分野一覧

行	分野	問題数
1	第1章 憲法総論	140問/140問 (100.0%)
2	1-1 憲法の理念及び立憲主義	43問/43問 (100.0%)
3	1-2 憲法の実態と保障	42問/42問 (100.0%)
4	1-2-1 憲法の変動	17問/17問 (100.0%)
5	1-2-2 憲法の保障	25問/25問 (100.0%)
6	1-3 平和主義及び国際協調主義	18問/18問 (100.0%)
7	1-4 国民主体と天皇制	37問/37問 (100.0%)
8	1-4-1 国民主体	15問/15問 (100.0%)
9	1-4-2 天皇制	19問/19問 (100.0%)

分野別のため、  
授業の予習・  
復習に最適！

TOP > 分野一覧 > 問題一覧

最新の演習結果：

行	問題	問題 / 演習履歴
1	0701011201 前文の法的性質	憲法前文は、近代立憲主義の原則によりながら現代国際社会における日本の在り方を明らかにしている点で、憲法… [本文表示]

不正解問題に  
絞って復習！

## マイフォルダ機能で効率良く繰り返し演習！



大阪大学 LS 修了  
I.Sさん

短答式過去問題トレーニングは、何より、解説に判例の該当部分が引用されていることが魅力的で、同じ判例を何度も目にする事で、判例知識の記憶にも役に立ちます。

別の角度から質問された場合にも、判例を思い出して答えられるようになりました。私にはそこまで短答式試験にかけられる時間はなかったので、「1日20問は必ず解く」と決めて、3周くらいしてから、繰り返し間違える問題・不安な問題を「マイフォルダに登録」し、その後はマイフォルダ内の問題を解くようにしました。

また、司法試験直前には短答式試験の問題を解くほどの余裕はなかったので、最後まで曖昧な問題の解説部分をまとめて、最後に見返せるまとめノートを作りました。

TKC 法律情報データベース  
LEX / DB インターネット

《書誌》

【文献番号】 280312  
【文献種別】 判決／最高裁判所第  
【裁判年月日】 平成10年 6月1  
【事件番号】 平成9年(オ)第6  
【事件名】 遺留分減殺、土地建  
【審級関係】 第一審 2803  
東京地  
(ワ)第  
平成

解説内の判例  
等リンクで理解  
が深まる！



マイフォルダ登録問題一覧

科目▲	実施年	問	タイプ
民事系 (民法)	令和4年	第1問	未成年者
民事系 (民法)	令和4年	第2問	成年後見
民事系 (民法)	令和4年	第3問	意思表示
民事系 (民法)	令和4年	第4問	取消し
民事系 (民法)	令和1年	第2問	不在者の財産管理人
民事系 (民法)	令和1年	第3問	代理

苦手な問題だけ  
を登録して  
反復演習！

# 論文対策 システム概要

## 論文演習セミナー

司法試験論文式過去問題及びTKCオリジナルの論文問題を収録しています。

司法試験過去問題では解説・解答例・参考判例等および法務省公表の出題趣旨・採点実感を確認できます。

判例演習		司法試験過去問題演習										
※司法試験論文式・過去問題の解説・解答例は、当該問題が出題された時点で適用される法令等を前提としております。ご了承ください。 <span style="float: right;">情報提供：日本評論社</span>												
<演習問題一覧>												
科目の選択	全ての科目	公法系	民事系	刑事系	倒産法	租税法	経済法	知的財産法	労働法	環境法	国際関係法（公法系）	国際関係法（私法系）
[全46問]												
行	科目	演習問題の概要	実施年度▼	自己評価	評価日	演習ノート						
1	民事系	不動産登記、賃貸不動産の譲渡や相続が関わる事例等を素材として、民法の基礎的理解とその応用力等を問う問題	2022年度 第1問									
2	民事系	取締役選任議案否決等の事案を素材に、会社法上の基礎的理解を問う問題	2022年度 第2問	C	2023/05/31							
3	民事系	賃貸借契約終了に基づく事務所の明け渡しを求める訴えを素材に、民事訴訟法上の基礎的理解を問う問題	2022年度 第3問									
4	民事系	工作機械の盗難、出張講座の開設等を素材に、民法の基礎的理解とその応用力等を問う問題	2021年度 第1問	C	2023/04/04							

問題 (PDF) 解説 (PDF) 解答例 (PDF) 演習ノートの作成

前問題へ 次問題へ

科目	民事系
タイトル	取締役選任議案否決等の事案を素材に、会社法上の基礎的理解を問う問題
設問	(第2問) (配点：100((設問1)から(設問3)までの配点の割合は、35：35：30)) 次の文章を読んで、後記の(設問1)から(設問3)までに答えなさい。  1. 甲株式会社（以下「甲社」という。）は、平成10年（1998年）4月に設立され、首都圏においてドラッグストアを営む会社法上の公開会社ではない取締役会設置会社で
出題趣旨・採点実感	出題趣旨（法務省公表資料の抜粋） 採点実感等に関する意見（法務省公表資料の抜粋）
参照条文	会社法 会社法339条2項 会社法423条1項
参考判例	最二小判平成16年2月20日民集58巻2号367頁   LEX/DB28090637   最一小判昭和29年10月7日民集8巻10号1795頁   LEX/DB27009126   最一小判昭和47年3月2日民集26巻2号183頁   LEX/DB27000581
参考文献	会社法判例百選【第4版】A1.6事件 会社法判例百選【第4版】4.2事件 会社法判例百選【第4版】4.8事件
自己評価	<input type="radio"/> A：解答に自信あり <input type="radio"/> B：解答を導き出せた <input checked="" type="radio"/> C：解答に自信なし <span style="font-size: small;">登録 ※ここで登録した自己評価は、問題一覧画面で確認できます。</span>

## 司法試験過去問題の分析に最適！

充実した解説・解答例・出題趣旨・参考判例等を掲載。解答作成に際しての「視点・考え方」を正確に把握できます。

## 情報の一元管理ができる！

参考判例や参照条文、参考文献をその場で確認できるため、関連情報を検索したり、調べる手間が省けます。

## 直前期の見直しに便利！

「自己評価」を登録することで、復習の優先度が高い問題をすぐに把握できます。「演習ノート」に答案や学習記録を残すことで効率的に復習が可能です。

## 便利な機能

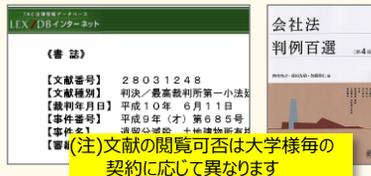
### 演習ノート

問題検討のメモや参考答案等、関連する情報を記録することができます。



### 関連情報リンク

出題趣旨・採点実感、参考判例や参考文献等の関連情報を確認できます。



### 自己評価

問題毎に3段階の自己評価を登録できます。評価順に並び替えも可能です。

自己評価	<input checked="" type="radio"/> A：解答に自信あり
	<input type="radio"/> B：解答を導き出せた
	<input type="radio"/> C：解答に自信なし

# 論文対策 合格者の活用方法

## 大学教員による信頼の解説解答例が役立つ！（選択科目含む）



早稲田大学 L S 修了  
T.Nさん

この中の「司法試験過去問題演習」は、司法試験の過去問を大学教授が起案し、自ら解説したものが収録されています。特に、**選択科目の起案と解説があるので、これだけでも見る価値**があります。また、司法試験の過去問と出題趣旨、採点実感が一つのページにまとまっており、過去問の一番上に年度が記載されています。そのため、**法務省の公式ホームページより簡単かつ容易に印刷可能であり、管理がしやすかった**です。

解説 (PDF)

解答例 (PDF)

司法試験受験生に人気の解説書『司法試験の問題と解説』（日本評論社）に掲載の解説・解答例が表示されます。



大学教員の  
解説解答例が  
読める！

出題趣旨・  
採点実感を  
すぐに確認！

出題趣旨・  
採点実感

出題趣旨（法務省公表資料の抜粋）

採点実感等に関する意見（法務省公表資料の抜粋）

## 「演習ノート」に情報を集約！効率的な過去問学習！



慶應義塾大学 L S 修了  
H.Mさん

時間が許す限り**何度でも司法試験の過去問にトライ**してみてください。平成18年から始まった司法試験は過去問量がとても多いので、それを回すだけで手いっぱいです。その際、各自のノートに新たに知った知識、間違えたこと、上位答案のうまい言い回しなどを書き溜めると良いと思います。私はその際にTKCの「論文演習セミナー」にある「演習ノート」機能が役立ちました。たしかにWordファイルでノートを各自で保管するというのも、ノートをとるという点では足りませんが、TKCの演習ノートであれば、関連する判例をすぐに調べて貼ることもできます。

自己評価や  
演習ノートは  
一瞥で把握！

<演習ノート>

ノートには、解答にあたり参考にした資料や問題のポイントなど、自由に入力してください。

科目	民事系
タイトル	取締役選任議案否決等の事案を素材に、会社法上の基礎的理解を問う問題
ノート	<p>1【設問1】について</p> <p>(1) Dの立場からは、取締役任期を短縮する定款変更に伴う退任および不再任により、甲社の取締役の地位を失ったことは、実質的な解任であって、会社法339条2項の類推適用により、甲社に対し、報酬相当額を損害賠償請求するの主張が考えられる。</p> <p>(2) 法律構成に関する主張</p> <p>ア 会社法339条2項の類推適用の可否</p> <p>まず、取締役の任期を短縮する定款変更が行われれば、その効力は在任中の取締役にも及び、その変更後の任期によれば任期が満了となり、退任する。Dは、平成30年4月1日退任した。Dは、平成30年4月1日を満了して退任する。そして、Dは解任されたのと同じことにな</p>
添付ファイル	<p>ファイルの選択</p> <p>《書誌》</p> <p>【文献番号】 25563080</p> <p>【文献種別】 判決／東京地方裁判所（第一審）</p> <p>【裁判年月日】 平成31年 1月29日</p> <p>【事件番号】 平成30年（ワ）第7876号</p> <p>【事件名】 貸金返還等請求事件</p> <p>【事案の概要】 銀行業務等を営む原告が、被告は</p>

実施年度▼	自己評価	評価日	演習ノート
2022年度 第1問	A	2023/08/31	
2022年度 第2問	C	2023/05/31	
2022年度 第3問			

# 判例学習 システム概要

## 判例学習ドリル

「判例学習ドリル」は主要7科目の『判例百選』、『重要判例解説』掲載判例の全文を一覧化したツールです。重要判例の全文や解説をデータベースで確認するとともに、関連する肢別問題・過去問題を演習できます。

マイフォルダ (登録判例数:7件)

憲法 行政法 民法 商法 民事訴訟法 刑法 刑事訴訟法

分野: 全分野 閲覧回数: すべて ノート:  ノート有り  ノート無し 対象判例数: 441件

絞込み解除

マイフォルダへ登録 ※マイフォルダへ登録する判例を選択してください。 並び替え: 司法試験(短)が多い順

選択	[上段]タイトル [下段]科目、分野、出典	最終閲覧日	ノート
<input checked="" type="checkbox"/>	無権代理人の本人相続——共同相続の場合 民法   総則-代理   民法判例百選 I 総則・物権 [第9版]-33事件 肢別問題 過去問題	2023/05/31	閲覧・編集
<input checked="" type="checkbox"/>	民法177条の第三者の範囲(3)——背信的悪意者からの取得者 民法   物権-物権総則   民法判例百選 I 総則・物権 [第9版]-58事件 肢別問題 過去問題	2023/08/31	閲覧・編集
<input checked="" type="checkbox"/>	抵当権の効力の及ぶ範囲(2)——敷地賃借権 民法   物権-抵当権   民法判例百選 I 総則・物権 [第9版]-82事件 肢別問題 過去問題	2023/08/31	登録

ワンクリックで  
関連問題の演習！

### 重要判例を効率的に読み込める！

判例データベース「LEX/DBインターネット」へリンクしているため、当該判例をすぐに確認できます。また、「判例評釈等へ」ボタンより、関連する評釈一覧を確認できます。

TKC法律情報データベース  
LEX/DBインターネット

《書誌》

【文献番号】 27814444  
【文献種別】 判決/最高裁判所第一小法廷(上告審)  
【裁判年月日】 平成6年1月21日  
【事件番号】 昭和63年(オ)第1733号  
【事件名】 貸金請求事件  
【審級関係】 第一審 27815343  
仙台地方裁判所 昭和58年(ワ)第566号  
昭和62年4月16日 判決  
27817491

提供 TKC

控訴審

判例評釈等一覧

該当判例の判例評釈等は 29 件です。発行年月が新しい順に判例評釈等を表示します。※情報提供元のシステムをご契約下さい。

行	誌名	発行年月	掲載頁	著者名等
1	民法判例百選 I 総則・物権 [第9版] 無権代理人の本人相続——共同相続の場合	2023/2/20		民法 判例百選 I [第9版]
2	民法判例百選 I 総則・物権 [第8版] 無権代理人の本人相続——共同相続の場合	2018/3/20		総則・物権 無権代理人の本人相続
3	民法判例百選 I 総則・物権 [第9版] 無権代理人の本人相続——共同相続の場合			(注)文献の閲覧可否は大学様毎の契約に応じて異なります

### 本試験での問われ方を確認できる！

当該判例に関する肢別問題または過去問題を演習できます。実際に問題を解き、どのような視点で問われたかを確認することで、より一層理解を深めることができます。

## 便利な機能

### マイフォルダ

復習したい判例やよく読む判例を登録し、オリジナルの判例集を作成できます。



### 判例ノート

判例に関するポイントや気づき、コメント等を登録することができます。



### 関連問題演習

「基礎力確認テスト」や「短答式過去問題演習トレーニング」の問題演習が可能です。







---

**【お問合せ先】**

株式会社TKC東京本社 リーガルデータベース営業本部

E-mail : [lssupport@tkc.co.jp](mailto:lssupport@tkc.co.jp)

フリーダイヤル : 0120-114-094 (土・日・祝日除く 9~17時)

※携帯電話からの問い合わせ (有料) 03-3235-5639 (土・日・祝日除く 9~18時)